

医師派遣続ける広

# 被災者息長

広島大病院（広島市南区）が、東日本大震災の被災地で息の長い支援を続けている。原発事故があった福島県へ直後から医師を派遣。今も3カ月交代で1人ずつを現地の医療施設などに出向させている。被災者と向き合う医師たちは何を見つめ、胸に刻むのか。その声に耳を傾けてみる。（奥田美奈子）



被災地支援の経過を伝える掲示の前で、意見を交わす藤野さん（左）と板井さん（撮影・今田豊）

## 受診橋渡しや社会復帰



中国新聞社の許諾を得ています  
掲載日付 2018年3月12日